

## 第48回沖縄地方交通審議会船員部会 議事録

日 時 平成24年9月21日（金）14時00分

場 所 沖縄総合事務局 1F 「共用会議室」

出 席 者

公 益 委 員 春田委員、上江洲委員

労働者委員 漢那委員、梅田委員、江川委員

使用者委員 山城委員

事 務 局 宮本海事振興調整官、船舶船員課（伊良波、宮良、金城）

### 議事次第

○開 会

○議 題

1. 第47回船員部会の議事録承認について
2. 管内の雇用状況等について
3. 平成24年度船員災害防止大会について
4. 意見交換

○閉 会

## 議事概要

### 事務局（金城）

それでは、定刻でございますので、会議を始めさせていただきます。

本日は、公益委員2名、労働者委員3名、使用者委員1名、が出席されており、船員部会運営規則第9条の規定による定足数を満たしており、有効に成立していることをご報告いたします。

### 事務局（金城）

続きまして、配付資料の確認をさせていただきます。

（配付資料の確認）

よろしいでしょうか。

それでは、春田部会長代理、宜しくお願いいたします。

### 春田部会長代理

それでは、はじめに第47回船員部会の議事録の承認についてお諮りします。

お手元に配付されております議事録をご確認ください。

第47回船員部会議事録を原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

（異議なし）

### 春田部会長代理

異議なしということで、承認されたものといたします。

続きまして、議題2の「管内の雇用状況等」について、事務局にご説明をお願いします。

### 宮良補佐

平成24年8月分の管内雇用等状況の概要について報告いたします。

1頁の「船員職業紹介実績等一覧表」をご覧下さい。

### ●求人状況について

新規求人数は2名でした。

前月も2名でしたので、同数です。

また、前年同月は0名でしたので、2名の増加です。

月間有効求人数は6名（商船等6名・漁船0名）でした。

前月、前年同月ともに5名でしたのでそれぞれ1名の増加です。

月末未済求人数は4名でした。

### ●求職状況について

新規求職数は6名（商船等5名・漁船1名）でした。

前月は8名でしたので、2名の減少、前年同月は6名でしたので、同数です。

月間有効求職数は26名（商船等24名・漁船2名）でした。

前月は30名でしたので、4名の減少、前年同月は24名でしたので、2名の増加となっています。

月末未済求職数は１８名でした。

●成立状況について

８月の当局成立について説明します。

８月は、管内に１名、管外に２名となっています。

管内には２０代男性が船長として貨物船に、また、管外のうち１名は５０代男性でガット士としてガット船に採用され、もう１名の３０代男性は二機士として貨物船に採用されました。

●求人倍率について

８月の月間有効求人倍率は、０．２３倍でした。

前月は０．１７倍でしたので、０．０６ポイントの増加となっています。

前年同月は０．２１倍でしたので、０．０２ポイントの増加となっています。

●新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

８月の新規求職者６名の内訳につきましてご説明します。

退職の理由としては、雇用期間満了が１名、自己都合が２名、重過失による理由が１名となっています。

また、現在陸上勤務中で海上勤務に転職希望の方が１名、そのほかの理由で１名ですが、これは雇用期間の更新希望中で求職票提出のあった方です。

新規求職者が所属していた会社所在地につきましては、管内が４名、管外が２名となっています。

●失業等給付支給内訳について

基本手当の初回受給者は０名でした。

受給者実人員は１１名、支給延べ件数は１３件、基本手当支給金額は１，９７６，７９８円でした。

さらに再就職手当として１件、１，０６６，３６２円の支給がありましたので８月の総支給額は３，０４３，１６０円となっております。

以上でございます。

春田部会長代理

ありがとうございました。

ただいまのご説明につきまして、何か質問等ございますでしょうか。

春田部会長代理

とくに質問等がないようですので、

続きまして議題３．平成２４年度船員災害防止大会についてのご説明を事務局からお願いいたします。

宮良補佐

続きまして、私の方から船員災害防止大会等についてご報告させていただきます。

去る、９月３日（月）に那覇市前島の沖縄県水産会館５Ｆ大会議室におきまして、船員災害防止大会（１４：００～１６：００）を開催しました。

大会の概要としましては、お手元の資料１ページ目にあります、式典概要のとおりとなって

おります。

式典終了後に同会場におきまして、特別講演会を行いました。今回は、国土交通省から、昨年起きた東日本大震災による津波被害の実体験を活用した講演会等を行うよう要望がありましたが、沖縄では、津波被害の実体験をした講師となる方を探すことが困難なため、沖縄気象台地震火山課神谷主任技術専門官に『津波から身を守るためには』というタイトルで、特別講演を行っていただきました。それ以外にも大会の会場におきまして、安全保護具・検知器具等の展示も行いました。

資料の３ページ目からは、沖縄総合事務局管内における船員災害疾病発生状況（平成２３年度）の資料等を付けております。こちらの資料については後ほどご確認していただければと思います。

話はおどりますが、特別講演が今回非常に好評でございまして、例年この大会については、マスコミの取材というのはそれほど多くはなかったのですが、今回は、琉球新報、沖縄タイムスの新聞社２社とテレビ局の取材がありました。現在「津波」は、非常に注目されているタイトルになっておりまして、参加された皆様も非常に興味深く講演を聞いていました。

神谷専門官の講演では、主体的に津波が発生したときの陸上にいる際の目線で「避難するには高台へ」といったアドバイス等もありましたが、船員を対象とした大会ということもありまして「操船中に津波に遭遇した場合は沖合の方へ避難すべき」といったアドバイスもいただきました。添付した新聞記事についても後ほど確認していただければと思います。

また、９月は、船員労働安全衛生月間となっております。月間中の取り組みとしましては、船員災害防止大会に続きまして、訪船指導を行っております。訪船指導では、宮古・八重山を含めた６つの班に別れて実際に船舶に立ち入り、安全、衛生管理体制の指導を行っているところです。本日も午前中、那覇新港で琉球海運株式会社さんの船舶２隻へ立ち入って、訪船指導を行ってきました。

以上、船員災害防止大会等のご報告とさせていただきます。

春田部会長代理

ありがとうございました。ただ今のご説明につきまして、何か質問等ございますでしょうか。

春田部会長代理

質問等がないようですので、

それでは議題４．の意見交換に移りますが何かございますでしょうか。

漢那委員

１０月８日～１１日にかけて定期全国大会を行います。

前回の部会でもお知らせしました、ＦＯＣキャンペーンは入港船がなく一般訪船へ切り替えました。

春田部会長代理

そのほかに何かございますでしょうか。なければ事務局から連絡がありますのでお願いします。

事務局（金城）

平成２４年度船員部会開催表をご覧ください。

１２月の部会の会場が、１Ｆ共用会議室から５Ｆ海技試験室へ変更となりましたのでご連絡させていただきます。

現在、皆様の委員任命更新の手続きを行っています。手続きが完了しましたらご連絡さしあげます。

次回の船員部会は10月26日（金）

場所と時間は本日と同じ 1F共用会議室で 14：00～ 開催いたします。

春田部会長代理

それでは本日の部会はこれで終了します。

（配付資料）

1. 第47回船員部会の議事録（案）
2. 管内職業紹介実績等一覧表（平成24年8月分）
3. 平成24年度船員災害防止大会資料
4. 平成24年度船員部会開催予定表